

# 進路通信2018/07 号外

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

この通信では「JAPAN e-Portfolio」について説明します。これは2020年度の入試から本格的になる大学入試改革において、非常に重要になるものです。しっかり理解してください。

## 1. 大学入試改革によって、「学びに対する態度」も評価されるようになる。

今までの大学入試のうち、一般入試では試験の点数で合格が決まりました。これは「3年間の学習の成果」であり、成果が出れば合格できたわけです。しかし、これからは成果だけでなく「学習の過程・プロセス」も評価されるようになります。そのようになる背景にはAO入試があります。東京大学や京都大学をはじめとした難関大学でもAO入試が行われるようになり、各大学ともAO入試で合格した学生が優れていると感じています。その要因は「学びに対する態度」です。AO入試ではいわゆる学力だけでなく、「大学で何を学びたいか」「なぜその大学で学びたいのか」「高校時代にどのように努力してきたか」といった「学びに対する態度・意欲」も重視されます。これが優れている学生は、大学入学後も力を伸ばすわけです。そこで、今までは試験の点数だけを評価してきた一般入試でも「学びに対する態度」を評価することになったのです。

## 2. 「学びに対する態度」を評価する方法が「JAPAN e-Portfolio」である。

「学びに対する態度」を評価するために導入されたのが「JAPAN e-Portfolio」です。「JAPAN e-Portfolio」とは、インターネット上のサイトです。このサイトに高校生は自分の学習に関する

「JAPAN e-Portfolio」の画面

<トップ画面>



<入力画面①>



<入力画面②>



記録を残していきます。この記録を出願のときに大学に送るわけです。大学は、この記録の内容

をもとに受験生の「学びに対する態度」を評価するわけです。

ここで、注意しなければならないのは、「JAPAN e-Portfolio」には「高校3年間の記録」を残さないといけないということです。これが今までのAO入試とは大きく異なる点です。今までは出願のときに高校3年間の振り返り書類を書けばよかったのですが、これからの入試では逐一記録を残し、その記録を大学に提出しないといけません。大学は「高校3年間でどのように成長してきたか」を知ることで、「学びに対する態度」を測るわけです。

<入力画面②>の下側に「職務を通じて何を学んだか、それをどう活かしていきたいのか」という欄があります。重要になるのはこの欄です。大学はどんな経験・体験をしてきたかという「事実」を知りたいのではなく、経験・体験を通じて起こった「変容」や「気付き」を知りたいのです。例えば1年生と2年生のときにそれぞれ「看護ガイダンス」に参加したとして、1年生のときの気付きをどう2年生のときに活かしているか、また取り組む姿勢にどのような変化があるかを知りたいわけです。意識がわかっているならば、まったく同じ講話を聞いたとしても気付くこと、感じ取ることは異なります。そこに成長があるわけです。

このような変化を大学に伝えるには、何かあるごとに記録を残していかなければなりません。3年生の受験の直前に1年生のときの気持ちは思い出せないからです。記録は自主的に残していくべきです。先生の指示を待つ必要はありません。

## 3. 「JAPAN e-Portfolio」に残すべき内容は8項目ある。

「JAPAN e-Portfolio」は大学入試で使われるということから、勉強や進路学習のことだけを記録すればいいと思った人もいるかもしれませんが、「JAPAN e-Portfolio」に残すべき内容は勉強や進路学習ではありません。<トップ画面>の下側に「学びのデータを登録」とありますが、そこには8つの項目があります。具体的には下の8つです（PC版の画面を転載しています）。

これを見ればわかると思いますが、項目は8つですが、大体すべての経験・体験が記録できます。記録できるということは、記録すべきということです。何か大きなことがあればその都度記録を残しておくべきです。例えば部活なら大会や合宿などの後には記録を残しておくといよいでしょう。なお、表彰や検定については賞状や証明書のデータ（写真でいい）を記録しておく必要があります。



1年生のときに3年生になった自分の進路はわかりません。1年生のときにどうでもいいと思っていたことが3年生になったときには重要なことになっているかもしれません。些細なことでも気付きや変容を感じたら「JAPAN e-Portfolio」に記録を残しておくべきでしょう。

## 4. 「よい記録」を残すためのポイント

「よい記録」を残すには、1つ1つの経験について適切な振り返りをすればいいわけです。振

り返りについては「5月後期の進路通信の特集」で紹介しています。そこで書かれていたポイントを簡単にまとめると、次の4点になります。

#### <振り返りのポイント>

1. 良かった、悪かったとその場の感想で終わらないこと。
2. 気づいたことがあれば、その気づきをもとに見方・考え方も見直すこと。
3. 自問自答しながら、自分なりの教訓を探すこと。
4. 先生や友達のアドバイスを入れること。

ここでは、この4つのポイントを踏まえ、英語のテストを例に振り返りを作っていきます。いきなり完璧な振り返りを書くのは難しいので、まずは単純に感想から始めましょう。

#### <第Ⅰ段階>

今回は長文が難しかった。次はがんばろうと思う。

もちろん、これではまったく不十分です。その理由は、ただの感想であり、振り返りのポイントの「1.」すら守れていないからです。これをよいものに変えていきましょう。

まず1文目ですが、難しく感じた理由・原因を書くようにしましょう。それによって、ポイントの「1.」はクリアできます。

#### <第Ⅱ段階>

今回は長文の中に出てきた類義語を確認していなかったのが、読解に手間取った。次はがんばる。

これではまだ不十分です。ポイントの「2.」で紹介されているように、「見方・考え方を見直すこと」ができていないからです。そこで、2文目を変えてみましょう。「がんばる内容」を具体的にしていくとよいでしょう。その過程でポイントの「3.」「4.」が必要になるはず。何を頑張れば、今回の原因を克服できると考えたのかがわかるような文章にしましょう。

#### <第Ⅲ段階>

今回は長文の中に出てきた類義語を確認していなかったのが、読解に手間取った。これからは単語を覚えるときに類義語についても確認していこうと思う。また類義語に限らず関連する単語を整理し、長文の読解に活かせるようにしようと思う。

これくらい書ければまずよいと思います。いきなりは書けないかもしれませんが、何度も書くうちに慣れるはず。それも成長の一部です。振り返りをよりよいものするためにも、進路通信の5月後期号の特集をもう一度読んで内容を理解しておきましょう。

## 5. 「JAPAN e-Portfolio」は高1だけが対象ではない。

大学入試改革において経過措置がありあません。浪人を繰り返せば今の3年生にとっても無縁ではなくなります。2年生にとっては、浪人する、しな

いに関わらず無縁ではありません。なぜなら、今年の6月時点で11の大学で「JAPAN e-Portfolio」のデータを活用すると公表しているからです。右のQRコードを読み取れば、「JAPAN e-Portfolio」のトップページに飛びます。最新情報はそちらで確認してください。

#### <2年生が受験するときに、「JAPAN e-Portfolio」を活用する大学>

国立大学…群馬大学（推薦入試）、大阪教育大学（推薦入試、一般入試）

私立大学…千葉商科大学、岐阜聖徳学園大学、皇学館大学、同志社大学、立命館大学、大阪医科大学、関西大学、関西学院大学、九州共立大学

これらの大学では「JAPAN e-Portfolioでも書類の提出を認める」ということで、従来通り紙の書類による出願もできるよう。ただし、正確な情報は大学のHPで確認してください。気になる大学がある人は特に気を付けてください

1年生については、ほとんどの大学で活用される見込みです。具体的な活用方法についてはまだ公表していない大学がほとんどです。しかし、配点については今年の8月中旬に公表されます。気になる大学についてはHPで配点を調べておきましょう。

なお、私立大学ですが、この「JAPAN e-Portfolio」の開発に大きく関わった関西学院大学では、一般入試においては次のような配点で行うと公表しています。

#### <関西学院大学の例>

「国語、日本史B、世界史B、数学のいずれか2科目：300点」、  
「外国語：200点」、「書類：10点」

他の大学でも、一般入試における配点はこのように低く設定されることが予想されています。大学は「合否のボーダー上の受験生については、学びに向かう態度を考慮して合否を決めたい」と思っているようです。配点は高くありませんが、大学入試では「1つのミスで合否が分かれる」と言われてきました。「JAPAN e-Portfolio」についても配点がある以上、気を抜いて取り組むわけにはいきません。また、AO入試や推薦入試を受ける可能性がある人は、当然、配点は高くなります。しっかり準備しましょう。

## 6. 「JAPAN e-Portfolio」のログイン方法

「JAPAN e-Portfolio」のトップページ（検索するか、上のQRコードから飛べます）にある「生徒向けログイン」をタップして、IDとPWを入力すると入れます。なお、IDとPWはマナビジョンで使っているものがそのまま使えます。忘れた人は担任の先生に聞きましょう。

